



公明党
三上 裕久

市立病院について

質問 専門知識を有するコンサルタント会社の活用により、市立病院の現場スタッフの理解があつたのかを伺う。

答弁 市立病院との協議を踏まえ、市立病院職員の理解のもと業務が進められています。

質問 コンサルタント会社の活用で具体的な改善目標を伺う。

答弁 平成30年度末までの累積8億4,700万円の資金不足の解消と令和5年度の単年度収支黒字化を目指し、今後の改善策を明確にしていきたいと思います。

質問 地域医療の将来を見据え、滝川市、赤平市、芦別市の市立病院の将来的な経営統合を前提に（仮称）中空知自治体病院連絡協議会の設置を提案するが、見解を伺う。

答弁 現時点では、今年度策定の経営改善計画に基づく市立病院単独での単年度収支の黒字化を目指しますが、将来的には、中空知の

公立病院の役割や機能分担を検討する必要があると考えています。

元気な産業と活力あるまちづくりについて

質問 農商工連携を進めることについて、農業者・商工業者のウインウインの関係を基本に地域内売上増、雇用創出、モチベーション向上などの波及効果を期待したいが、そのような効果を生む官民連携となるのかを伺う。

答弁 地域産業において、農商工の連携は重要な取り組みと考え、市としてサポートを行い地域活性化につなげていきます。

誰もが住みよい安全安心なまちづくりについて

質問 JR根室本線の維持・存続について、短期的な支援策で中長期的鉄道の維持につながると考えているのかを伺う。

答弁 あくまでも短期的な支援であり、国の2年後の法改正を視野に持続的な鉄道網の確立、路線維持、地域支援の在り方など、北海道の議論を注視しつつ判断していきます。

質問 除雪・排雪について、道路交通網の確保対策では、警報予報などの事前予測に基づく降雪前の除雪・排雪の体制について伺う。

答弁 委託業者と情報を共有し対策について協議を行っています。

また、道路の現況を勘案しながら運搬排雪や拡幅作業など、事前の対策により道路交通網の確保に努めています。

未来へはばたく子どもたちを育むまちづくりについて

質問 幼児教育・保育の無償化の導入による需要の増加で教育・保育の質の低下を招くと心配されている方がいるが、見解を伺う。

答弁 本市においては、幼稚園、保育所の入所要件、保育基準は変わりません。認可外保育施設においても指導監督基準を満たしていますので、無償化導入が質の低下につながるものとは考えていません。

市民が活躍するまちづくりについて

質問 地域にあるコミュニティセンターの管理運営を地域町内会から民間企業への委託に変更するこ

とについての見解を伺う。

答弁 災害時の避難所、高齢者、子どもたちの居場所づくりなど、地域特性を生かした管理運営を行っていますので、今後も地域の皆さんによる管理運営を継続していただきたいと考えています。

効率的な行政運営によるまちづくりについて

質問 第2期財政健全化計画で人件費、職員給与についての考えを伺う。

答弁 第1期財政健全化計画において、人員の見直しは、事務事業見直しおよび機構改革とセットで行い、組織のスリム化を図ってきたところであり、これまでの考えのもとメリハリのある見直しで組織、人件費の見直しにつなげていきたいと考えています。

質問 ふるさと納税制度の新たな基準が施行となり、寄付額の伸びが心配される。新たなサイトの増設を急ぐべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 新たなポータルサイトを開設し、広くPRしていくための準備、検討を行っています。